

平成19年度

タウンミーティング  
「市長と語る」

の

記 録

八王子市 総合政策部 広聴広報室

## はじめに

市長が各地域に出向いて、市民の皆様と膝を交えて、市政についてのご意見・ご提案等をお聴きする“タウンミーティング「市長と語る」”も、今年で8年目を迎えました。

タウンミーティングは、市長による市政報告とともに、参加された市民の皆さんからいただいたご意見、ご提案に直接回答するなど、市民と行政が手を携えてまちづくりを考える大切な機会として、「市民が主役」のミーティングを展開しています。

さて、本市は、10年後に市制100周年を迎えます。そこで、今回は「市民のみなさんの夢をきかせて！～10年後のわがまちを語り合おう～」をテーマに開催し、自分たちが作っていきたいまちなど、市民一人ひとりが考える「夢」のまちについて、市長にご提案をいただきました。

また、今年は本市のテーマであります「音楽のまち」を目指して、市民の皆さんに音楽に接していただく機会を増やすため、市内・近郊の大学の学生の皆さんの協力をいただき、「ミニコンサート」を実施しました。

# 目 次

はじめに

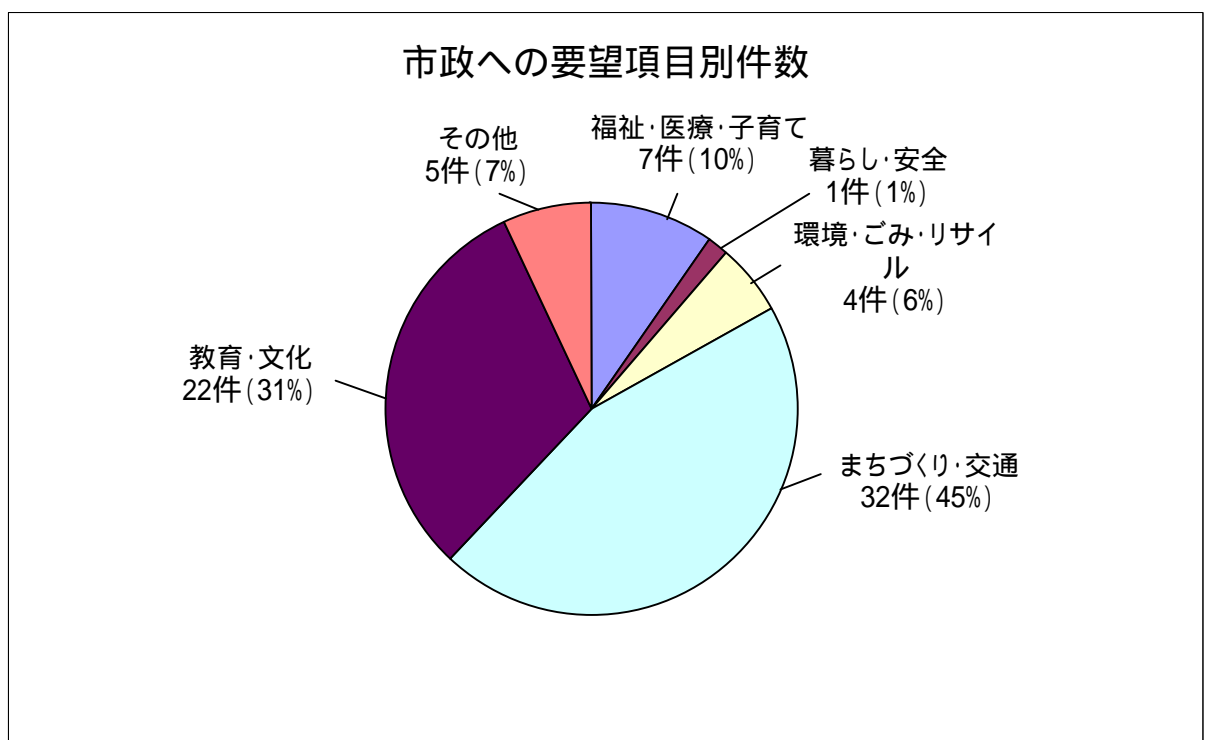
1. テーマ	1
2. 要望等項目別件数	1
3. 各会場の実績	2
4. 所管別内容	
(1) 所管別件数一覧表	2
(2) 所管別件名一覧表	3
5. 要望、市長答弁要旨及び担当所管	
中央地域 (市役所本庁舎)	7
東部地域 (柏木小学校)	11
東南部地域 (北野事務所)	14
西部地域 (川口市民センター)	18
西南部地域 (横山南市民センター)	22
北部地域 (加住市民センター)	25
6. 過去の提案等取り組み状況	30
7. 会場配布資料	38
8. 開催案内チラシ	42
9. 学生によるミニコンサート開催日程	43

おわりに

1. テーマ 市民のみなさんの夢をきかせて  
 ~ 10年後のわがまちを語り合おう ~

2. 要望等項目別件数

開催日	会場	地域	地区	福祉・医療・子育て	暮らし・安全	環境・ごみ・リサイクル	まちづくり・交通	教育・文化	その他	合計
5月12日	市役所本庁舎	中央	本庁	1	0	2	9	5	0	17
5月19日	柏木小学校	東部	由木 由木東 南大沢	1	0	0	4	2	3	10
5月26日	北野事務所	東南部	由井 北野	5	0	0	5	3	1	14
6月9日	川口市民センター	西部	元八王子 恩方 川口	0	0	0	6	3	0	9
6月16日	横山南市民センター	西南部	浅川 横山 館	0	1	1	2	3	0	7
6月23日	加住市民センター	北部	加住 石川	0	0	1	6	6	1	14
合計				7	1	4	32	22	5	71



### 3. 各会場の実績

開催日	会場	地域	地区	参加者数 (人)	発言者数 (人)	発言項目数 (件)
5月12日	市役所本庁舎	中央	本庁	118	12	17
5月19日	柏木小学校	東部	由木 由木東 南大沢	60	7	10
5月26日	北野事務所	東南部	由井 北野	116	10	14
6月9日	川口市民センター	西部	元八王子 恩方 川口	164	9	9
6月16日	横山南市民センター	西南部	浅川 横山 館	86	6	7
6月23日	加住市民センター	北部	加住 石川	99	11	14
合計				643	55	71

### 4. 所管別内容

#### (1) 所管別件数一覧表

部名	件数	部名	件数
総合政策部	8	まちづくり計画部	13
市民活動推進部	14	まちなみ整備部	13
総務部	4	道路事業部	11
生活安全部	4	下水道部	4
健康福祉部	9	水道部	1
こども家庭部	1	学校教育部	11
産業振興部	15	生涯学習スポーツ部	8
環境部	5		
		合計	121

## (2)所管別件名一覧表

### 総合政策部

8件

発言番号	発言項目	開催日
9	リニア新幹線について	5月12日
21	由木東事務所について	5月19日
22	事務所について	5月19日
24	事務所の統廃合問題について	5月19日
26	障害者の自立支援について	5月19日
34	障害者団体について	5月26日
44	郷土資料館について	6月9日
70	3館ラリーの交通問題について	6月23日

### 市民活動推進部

14件

発言番号	発言項目	開催日
4	八王子ブランドについて	5月12日
6	八王子大江戸舞祭について	5月12日
14	NPOやコミュニティービジネスについて	5月12日
15	学園都市について	5月12日
19	挨拶について	5月19日
25	緑のケアについて	5月19日
37	カラオケ大会について	5月26日
39	企業誘致について	5月26日
41	八王子について	5月26日
43	川口の物流基地について	6月9日
49	再チャレンジについて	6月9日
52	地元のコミュニケーションについて	6月16日
58	大学の体験入学について	6月23日
70	3館ラリーの交通問題について	6月23日

### 総務部

4件

発言番号	発言項目	開催日
19	挨拶について	5月19日
30	地デジ移行について	5月26日
36	障害者支援について	5月26日
59	FM放送局について	6月23日

### 生活安全部

4件

発言番号	発言項目	開催日
18	放置自転車、落書きについて	5月19日
19	挨拶について	5月19日
53	階段の手すりについて	6月16日
54	災害対策について	6月16日

## 健康福祉部

9件

発言番号	発言項目	開催日
7	高齢者のトレーニングルームについて	5月12日
26	障害者の自立支援について	5月19日
28	発達支援センターについて	5月26日
35	ボランティアセンターについて	5月26日
36	障害者支援について	5月26日
40	麻疹について	5月26日
42	花の温泉について	6月9日
51	アート塾について	6月16日
52	地元のコミュニケーションについて	6月16日

## こども家庭部

1件

発言番号	発言項目	開催日
19	挨拶について	5月19日

## 産業振興部

15件

発言番号	発言項目	開催日
1	市内の映画館について	5月12日
3	浅川の観光化について	5月12日
4	八王子ブランドについて	5月12日
12	八日町のアーケードについて	5月12日
29	8王型空中ゴンドラ展望車について	5月26日
32	10年後シリコンバレーにならないか	5月26日
38	開発について	5月26日
39	企業誘致について	5月26日
42	花の温泉について	6月9日
47	八王子八十八景について	6月9日
57	企業誘致の優遇措置について	6月16日
62	滝山の観光コースについて	6月23日
65	文化財の保護・保存について	6月23日
66	先端技術と伝統技術について	6月23日
70	3館ラリーの交通問題について	6月23日

## 環境部

5件

発言番号	発言項目	開催日
13	不法投棄ごみについて	5月12日
23	圏央道について	5月19日
27	放置自転車について	5月19日
38	開発について	5月26日
61	昭島市のリサイクルプラザ建設計画について	6月23日

## まちづくり計画部

13件

発言番号	発言項目	開催日
3	浅川の観光化について	5月12日
5	街路樹の手入れについて	5月12日
9	リニア新幹線について	5月12日
11	浅川に鮎を戻して	5月12日
16	川に子どもたちの遊び場を	5月12日
23	圏央道について	5月19日
38	開発について	5月26日
43	川口の物流基地について	6月9日
47	八王子八十八景について	6月9日
56	環境アセスメントについて	6月16日
60	JR八王子駅北口について	6月23日
68	交通政策について	6月23日
69	八王子西ICについて	6月23日

## まちなみ整備部

13件

発言番号	発言項目	開催日
3	浅川の観光化について	5月12日
5	街路樹の手入れについて	5月12日
8	南口の再開発について	5月12日
25	緑のケアについて	5月19日
33	公園の利用について	5月26日
34	障害者団体について	5月26日
38	開発について	5月26日
44	郷土資料館について	6月9日
45	開発について	6月9日
50	市街化調整区域について	6月9日
53	階段の手すりについて	6月16日
63	八王子の活性化について	6月23日
67	宇津木土地区画整理事業について	6月23日

## 道路事業部

11件

発言番号	発言項目	開催日
2	歩道の段差について	5月12日
3	浅川の観光化について	5月12日
5	街路樹の手入れについて	5月12日
17	信号機について	5月12日
18	放置自転車、落書きについて	5月19日
27	放置自転車について	5月19日
42	花の温泉について	6月9日



60	JR八王子駅北口について	6月23日
64	信号機の移設について	6月23日
68	交通政策について	6月23日
70	3館ラリーの交通問題について	6月23日

### 下水道部

4件

発言番号	発言項目	開催日
3	浅川の観光化について	5月12日
46	下水道未接続について	6月9日
48	下水道未接続について	6月9日
67	宇津木土地区画整理事業について	6月23日

### 水道部

1件

発言番号	発言項目	開催日
48	下水道未接続について	6月9日

### 学校教育部

11件

発言番号	発言項目	開催日
3	浅川の観光化について	5月12日
6	八王子大江戸舞祭について	5月12日
7	高齢者のトレーニングルームについて	5月12日
16	川に子どもたちの遊び場を	5月12日
18	放置自転車、落書きについて	5月19日
20	中学校給食について	5月19日
26	障害者の自立支援について	5月19日
32	10年後シリコンバレーにならないか	5月26日
44	郷土資料館について	6月9日
58	大学の体験入学について	6月23日
71	学区制について	6月23日

### 生涯学習スポーツ部

8件

発言番号	発言項目	開催日
3	浅川の観光化について	5月12日
10	八王子の高校の甲子園出場について	5月12日
19	挨拶について	5月19日
24	事務所の統廃合問題について	5月19日
31	地域密着型総合スポーツクラブについて	5月26日
44	郷土資料館について	6月9日
55	郷土資料館について	6月16日
65	文化財の保護・保存について	6月23日

## 5. 要望、市長答弁要旨及び担当所管

(発言者敬称略)

### 【中央地区】

平成 19 年 5 月 12 日(市役所本庁舎)

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
1	<p>【市内の映画館について】</p> <p>市内に映画館が少なく、立川・吉祥寺まで行かなければならない。娯楽も文化である。市内に複数の映画館の入った建物を作ってほしい。 (磯山 勝司)</p>	<p>映画は、文化の一面であると思う。現在は、横山町にニュー八王子シネマ4スクリーン、南大沢にTOHOシネマズ9スクリーンがある。南口再開発とあわせて、是非シネコンを入れてもらいたいとJRに要請をしている。</p>	産業振興部
2	<p>【歩道の段差について】</p> <p>日常、自転車に乗っている。歩道に段差があるから買い物した物がくずれてしまう。是非、歩道の段差をなくしてほしい。 (磯山 勝司)</p>	<p>これは、現在行っている。高齢者や障害者の方たちが、町に出かけやすくなるよう段差をなくした歩道の整備を進めている。可能な限り、年間に行うメーター数を増やすなどの努力をしていきたい。</p>	道路事業部
3	<p>【浅川の観光化について】</p> <p>八王子市には立派な浅川があるが活かされていない現状である。観光に活用できるよう、桜並木を作ったらどうか。浅川沿いには、景色のいいところがたくさんある。それを活かして、皆さんの健康のためのウォーキングロードにしたら、もっと素晴らしいのではないかと。(榎本 邦美)</p>	<p>私は、浅川が大好きである。浅川をきれいな川にして取り戻したいという思いで、下水道も前倒して、今年度100%整備される。あとは、どう活かすかである。「浅川ゆったりロード」ができあがり、自転車・ジョギング等で使用している。桜の木を中学生の卒業記念に植えていこうということは面白いのではないだろうか。</p>	産業振興部 学校教育部 道路事業部 まちづくり計画部 まちなみ整備部 下水道部 生涯学習スポーツ部
4	<p>【八王子ブランドについて】</p> <p>八王子市ブランドの名産のグッズを作り、それを前面に出して売り込みをしたらどうか。毎年、八王子グッズフェスティバルというのを開催し、毎年アイデアを蓄積し、大学とも協力して立ち上げていきたい。 (榎本 邦美)</p>	<p>八王子ブランドのグッズはなかなか難しい。これは、市民の皆さんから持ち上がってそれを行政がバックアップしていくというのが大事ではないか。広くアイデアをいただいて、行政がやらなければならないことは、しっかりとやっていきたいと思っている。</p>	市民活動推進部 産業振興部
5	<p>【街路樹の手入れについて】</p> <p>低木の街路樹(特にツツジ、サツキ)について、今、花が咲く時期である。きれいで見事な花が咲いているところと花がひとつもついていないところがある。原因は、剪定の時期が悪いからである。花を咲かせてあげたい。 (北原 景昭)</p>	<p>確かに、同じ手入れをしているが、向きによって咲いていないところがある。難しいが、せっかく植えたものだから、できるだけ自然のままで伸ばしてあげたいというのが私の基本的な姿勢である。そういうことを考えながら調整をしていきたい。</p>	まちづくり計画部 まちなみ整備部 道路事業部

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
6	<p>【八王子大江戸舞祭について】</p> <p>「八王子大江戸舞祭」は、八王子で今年4回目の開催を目指している。大江戸ダンスという踊りで地域の大人と子どもの接点を作り、そこで交流を結び、マナーなどを子どもたちに伝えていこうという活動をしている。 (小山 幸夫)</p>	<p>日頃からのご努力、ご尽力には敬意を表したいと思う。このことは、素晴らしいことだと思う。輪が広がっていることも承知している。市の市民企画事業補助金交付事業にも参加している。教育の面では良いと思う。是非広げていただきたいし、バックアップしていきたい。</p>	市民活動推進部 学校教育部
7	<p>【高齢者のトレーニングルームについて】</p> <p>地域において20名ほどで筋力トレーニングのサークルを立ち上げた。中野山王地域では会場がない。中野北小は子どもの数が減り、空き教室があると聞いている。そこで、平日の昼間に空き教室を高齢者の支援として使わせていただければと思う。 (西山 洋右)</p>	<p>筋力トレーニングをやっていることは、良いことであると思う。子どもが少なくなって、中野北小には確かに空き教室はある。ただ、昼間空き教室の開放はしていない。子どもの安全の問題等がある。</p>	健康福祉部 学校教育部
8	<p>【南口の再開発について】</p> <p>駅前の再開発の件であるが、北口はパチンコ屋や風俗営業店等が目立ち、八王子の表玄関としては大変なさげない。これをふまえ、南口の再開発については、市としてのポリシーを持ち、マスタープランを作って、品格のある玄関口にしてほしい。 (納土 伸男)</p>	<p>南口の再開発について、今コンセプトをまとめつつある。北口の轍を踏まないように、品格のある賑わいを取り戻せるような再開発にしていこうと思っている。新しい時代への対応が若干不得手な部分もある。八王子なりの良いまちづくりができるようにしていく。</p>	まちなみ整備部
9	<p>【リニア新幹線について】</p> <p>JR東海がリニア新幹線を実施に移そうとしている。横浜線沿線で50万都市である八王子に入ることは、無理な話ではないのではないか。今から間に合うかわからないが、是非リニアを八王子に引っ張ってくることを検討してほしい。(納土 伸男)</p>	<p>リニアの新幹線については、詳細を承知していない。まだ事業化できるかもわからない段階ではないか。今後どうなるかわからないので、情報をしっかり集めながら、できるだけ八王子にとってプラスになるような方向づけができればと思っている。今後の問題であろう。</p>	総合政策部 まちづくり計画部
10	<p>【八王子の高校の甲子園出場について】</p> <p>八王子の発展のために、八王子の高校を甲子園に出すという夢はいかがか。未だに、春・夏の甲子園に出たことがない。是非、八王子のリトルリーグで優秀な選手を確保して、3年間で甲子園を目指すということを提案する。 (納土 伸男)</p>	<p>八王子の名前のついた学校が甲子園に出るということは、私も夢である。大賛成である。できることなら、応援をしたいと思っている。その時には、みんなで応援しよう。</p>	生涯学習スポーツ部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
11	<p>【浅川に鮎を戻して】</p> <p>多摩川にはたくさんの鮎が戻ってきている。浅川も下水の整備のおかげで水質がきれいになっているが、落差溝があるため、多摩川には戻れるが、浅川に戻ることができない。浅川に魚道を作って、鮎が戻れるように八王子市からお願いしてほしい。 (諏訪 祥子)</p>	<p>現在、多摩川では、鮎が100万匹あがってきているそうである。浅川にも是非戻ってきてほしい。是非そうしていきたい。浅川は落差が大きいから堰が多い。堰を整備して魚道を作るように働きかけをしていく。<b>必ずやります</b>。近いうちに鮎が見られるように頑張ろう！</p>	まちづくり計画部
12	<p>【八日町のアーケードについて】</p> <p>八日町の甲州街道のアーケードは、何十年も設置されていた。今、一部はずされている。今後もアーケードは再設置になるのか。あるいは、全部はずしてしまうのか。 (飯島 治朗)</p>	<p>基本的には、リニューアルのため撤去をする。古くなりすぎて、美観上と安全衛生の両面により撤去する。安全基準も厳しいし、非常にコストもかかる。撤去したうえで、店もそれにあわせてリニューアルするというのが原則である。</p>	産業振興部
13	<p>【不法投棄ごみについて】</p> <p>資源ごみの集積所に不法投棄がある。分別をしないでごみを集積所に捨てるという行為が跡を絶たない。いっそのこと、他市で行っているように、すべて自分の家の前に出すようにしたらなくなるのではないかと、思うがどうか。 (塚本 道男)</p>	<p>分別しないというのは、モラルの問題。徹底しているところは、マル優マーク(認定適合マーク)をつけ奨励をしようということで、ご協力を求めている。市は、パトロールをしている。山間部が多く不法投棄も多い。そういうところに監視カメラをつけたり、夜間パトロールをしたりしている。街中であれば、地域の皆さんに見守っていただくということも必要ではないかと思う。是非、ご協力を願いたい。</p>	環境部
14	<p>【NPOやコミュニティービジネスについて】</p> <p>NPOやコミュニティービジネスに興味があり、こういったものに市からの支援やアプローチがあるのか。税金の優遇措置や事務所を格安で貸すとか、データベースを作るとかの情報提供を、市はどのように行っているのか。 (宮本 誠主)</p>	<p>八王子で学んだ方が八王子で創業するというのを夢見ている。あらゆる支援をするから、創業する時には八王子でとお願いしている。それが私の夢のひとつである。支援策も具体的なものがいくつかある。窓口は市民活動推進部で、広くバックアップしている。どんなことでもいいから相談してほしい。</p>	市民活動推進部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
15	<p>【学園都市について】</p> <p>「学園都市づくり」のプランについて、具体的にどういったものを目指しているのか教えてほしい。「学園都市」ということを掲げているのであれば、在住の学生に対してもメリットのあるまちづくりがされるのか。 (宮本 誠主)</p>	<p>八王子の「学園都市づくり」は、八王子の大学の学生だけを対象としているだけではない。私が嬉しいのは、真剣にまちづくりにご提案をしてお協力をしていただいていることである。それは、素晴らしいことだと思う。学生独自の発想で学生しかできないような内容で「学生天国」を開催している。学園都市大学「いちょう塾」がある。包括的な市民大学を開催しているのは、八王子だけではないかと思っている。ホームページや広報に具体的なものが掲載されているので、見ていただきたい。</p>	市民活動推進部
16	<p>【川に子どもたちの遊び場を】</p> <p>下水道の整備が100%近くになり、川がきれいになった。孫が川で遊んでいたら、「危ない!」と言われた。きれいな川になったのだから、子どもたちが遊べる場所を作ってほしい。 (石井 武)</p>	<p>子どもの川遊び。なんでも危険だという風潮があるが、ちょっと違う気がする。ある程度自己責任で、きちんとしたしつけをするということが大事であると思う。川を整備するにしても、いくつの子どものために安全なのかを総合的に考えるようである。浅川に、水に親しめる環境づくりは進めていきたい。</p>	まちづくり計画部 学校教育部
17	<p>【信号機について】</p> <p>強風が吹いたとき、歩行者用の信号の向きが変わってしまう。強風のあとパトロールをして、国道、市道の区別なく直してほしい。 (池野 秀美)</p>	<p>了解しました。</p>	道路事業部

【東部地域】

平成 19 年 5 月 19 日( 柏木小学校 )

発言 番号	要望要旨 ( 発言者 )	市長答弁要旨	担当所管
18	<p>【放置自転車、落書きについて】</p> <p>松が谷地域の放置自転車の撤去、小学校の落書きの消去、迅速な対応ありがとう。とてもひどい状態であったが、消してもらって3ヶ月が経過しているがきれいなまま保持されている。10年後もきれいなまちを目指して努力していきたい。</p> <p>( 白水 嘉奈子 )</p>	<p>落書きの消去や放置自転車の撤去は、細かいことであるが大事なこととされている。「割れ窓理論」で、小さいことを放置しておくところから犯罪が多いまちになるといわれている。そうならないうちに芽を摘んでいく、常に誰かが見ているぞと思わせるのは大事なことである。</p> <p>( 参考 )</p> <p>「割れ窓理論」 アメリカの犯罪社会学者 ジョージ・ケリング氏が提唱。割れた窓ガラス1枚をそのままにしておく、次々と軽犯罪を招き、やがては凶悪犯罪が起こるという理論。</p>	<p>生活安全部 道路事業部 学校教育部</p>
19	<p>【挨拶について】</p> <p>地域の皆さんと挨拶を交わすということを提案したい。自分が住んでいるまちをよく知って、そのまちを好きになる。できる範囲で一人ではなく、皆さんと協力してやっていきたい。</p> <p>( 白水 嘉奈子 )</p>	<p>挨拶はとても大事なことだと思う。挨拶をしようと職員にもよく言っている。大きな声で挨拶をして悪く感じる人はいない。地域で挨拶を交わすのは防犯につながる。この運動は、是非先頭に立ってやっていただきたい。そういう子どもたちが増えると、地域は明るくなるし良いことだと思う。</p>	<p>生活安全部 市民活動推進部 こども家庭部 総務部 生涯学習スポーツ部</p>
20	<p>【中学校給食について】</p> <p>中学校の給食については、検討ありがとう。いつか叶うことを願っている。</p> <p>( 白水 嘉奈子 )</p>	<p>給食のことは、今、検討している。できるだけ、余りお金の掛からない方法を考えて検討中であるから、もう少し時間をいただきたい。</p>	<p>学校教育部</p>
21	<p>【由木東事務所について】</p> <p>由木東事務所縮小に関する要望である。八王子の東端に位置し、市の中心部に比べ、行政との関係では不便な生活をしてきている。南大沢まで手続きに行かなければならないとすれば、経済的・肉体的に負担は増大し、行政サービスを受ける機会を損ねかねない。住民の窮状を推察し、由木東事務所を廃止しないでほしい。</p> <p>( 鈴木 敏男 )</p>	<p>結論から言うと、今、サービスを低下させないという前提で検討している。他の政令指定都市の例をみると、10万人単位で区を作っている。これがサービスの拠点づくりとしては適当ではないかということから検討をはじめた。ただ地域事情がある。一番事務所に行く用事として多い証明書類を、身近な郵便局を活用したり交付機はどうかと考えている。地域事情を、十分に検討委員会で検討してもらおう。地域の皆さんに理解していただけることを考えていきたい。</p>	<p>総合政策部</p>



発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
22	<p>【事務所について】</p> <p>東部地域は、由木と由木東の事務所をなくし、南大沢にまとめあげるというプランが出た。各事務所が住民に密着した形で、サービスを提供している。由木や松が谷方面は、他市への編入問題等歴史的な経過があり、なぜなくすのかという感情的な問題もある。どのように住民に情報提供したのか。なくすことで、住民サービスが低下し地域格差が広がることについて、どのように考えているのか。答申が出てからの流れはどうなるのか。どのように決定されていくのか。</p> <p>(成瀬 誠)</p>	<p>なくなるということを前提に話をされていたが、まだなくなると決まったわけではない。今そのために検討委員会で検討している。大事な問題は、もっと色々な手段で市民の皆さんにお知らせしてご意見を伺うというのは当然である。事務所がなくなったらサービスの低下とは、必ずしも思っていない。例えば、より身近なところで証明がとれるということは、サービスの低下ではない。拠点の事務所では今のサービスよりももっと拡充して、ある程度のことは済ませられるようにしようと思っている。検討委員会の結果が出たら、私たちも検討するし議会でも検討してもらおう。そして市民の皆さんにも示して、ご意見をいただくという順序である。</p>	総合政策部
23	<p>【圏央道について】</p> <p>圏央道建設に対して、自然保護・環境保全の運動があった。今でも継続しているが、これは八王子の自然環境を維持していくために必要だったと思うが、この役割についてどう思うか。</p> <p>(大田 努)</p>	<p>私は、自然保護というのは、最終的な課題のひとつとして取り組んでいる。自然保護を純粹にやっていただいている方は、大変貴重である。ただ、反対のための反対の方もいる。これは自然保護とは別の問題だと思う。事業を行う場合、反対のための反対には、断固として同調できない。</p>	まちづくり計画部 環境部
24	<p>【事務所の統廃合問題について】</p> <p>事務所の統廃合問題に関連して、行政サービスの問題については、日頃から疑問を感じている。合理的なものであれば納得するが、機械的な考え方でやるとそこにひずみが出る。住みよい八王子をつくるという方向からするのならば、効率本位ではなくもっと住民の生活本位で考えるようにしてほしい。</p> <p>(大田 努)</p>	<p>格差の是正というのは、色々な角度から検討しながら、これからも努力していきたい。過去の経緯に縛られることなく、効率的なまちづくりをしていくために整理をしようということで検討をしている。一方的なことも機械的にも考えていない。拠点の業務を拡大させ市民サービスを充実させていこうということ。これからも努力をしていく。</p>	総合政策部 生涯学習スポーツ部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
25	<p>【緑のケアについて】</p> <p>八王子に住んで約10年。緑が多く気に入っている。一方で、緑のケアが微弱である。近くのみどり緑地は、年3回しか草を刈ってくれないし、刈った草を放置しており、茶色く変色して見苦しい。市民の力を有効に活用するためにボランティアを考えたらどうか。市が率先して作っていくことを考えたらどうか。(能登 洋一)</p>	<p>緑のケアについて、すべて行うというのは、財政の負担が大きい。良い環境を保持していこうということで努力をしている。アドプト(里親)制度ということで、地域の皆さんに公園の維持管理をしていただいている。市民と行政の協働である。すべて税金を使ってという時代ではないのではないか。これからも地域の皆さんにご協力いただきたい。行政も可能な限り努力する。ボランティアも盛んである。ボランティアセンターもあるし、NPO法人を立ち上げるのを応援する組織もできている。ボランティアは、市民活動推進部で行っている。是非、参加をしていただきたい。</p>	市民活動推進部 まちなみ整備部
26	<p>【障害者の自立支援について】</p> <p>今、関心を持っているのが障害者の自立支援の問題である。特に精神障害者で、障害者と一緒に生活する社会づくりである。精神障害者は、施設から地域へという流れである。受け入れるためには、できるだけ身近な地域が望ましい。その点からいって、由木東事務所はそういう意味での拠点としての役割として必要ではないか。(上條 良住)</p>	<p>ボランティア活動にご尽力いただき感謝する。障害のある方が積極的に社会参加できるように、行政として仕組みづくりをしていかなければならないし、国のほうでも法律の整備ができています。市としては、教育の場で特別支援教育に積極的に取り組んでいる。由木東事務所の活用については、ご意見として伺っておく。</p>	総合政策部 健康福祉部 学校教育部
27	<p>【放置自転車について】</p> <p>南大沢駅前の自転車の放置がひどい。最初はちょっと見苦しい程度であったが、当たり前のように置いていかれ、歩くのも迂回しなければ目的地に到達できない状況である。一方的な不快感と通行の障害で不便である。行政として、眼を向けているのか。(千葉 陽子)</p>	<p>眼を向けているが、駅前の放置自転車は本当に困ったものである。私は自転車の普及は良いことだと思っている。環境にも健康にもよいのであるが、モラル、倫理観がどうしようもないほど低下している。駐輪場への案内とか撤去の問題とか、もっと力を入れてやる。駅前や施設の前は顔である。顔が汚れていけば、いい感じは持たない。モラルアップやマナーアップをこれから訴えていきたい。</p>	環境部 道路事業部



【東南部地域】

平成 19 年 5 月 26 日(北野事務所)

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
28	<p>【発達支援センターについて】</p> <p>東京都にまだ1ヶ所しかない「発達支援センター」を八王子にも設立してほしい。現在、多摩市にある島田療育センターが都の委託事業として、多摩市と八王子市をカバーしているが、八王子から通うのがとても大変である。(木村 靖子)</p>	<p>発達障害者支援は大事なことである。平成17年4月1日に発達障害者支援法が施行され、「発達障害者支援センター」については、都道府県の事業となっている。市長会を通じて、東京都・国に多摩地域にも1ヶ所設置をと要望している。現時点では、発達支援センターを八王子市に設置する状況にはなっていない。これから努力をしていきたい。</p>	健康福祉部
29	<p>【8王型空中ゴンドラ展望車について】</p> <p>今回のテーマが「夢を語ろう」ということで、八王子のマークをあしらった8王型空中ゴンドラ展望車を作ったらどうかということを提案したい。(松本 清一)</p>	<p>夢のあるご提案をいただき、大変嬉しく思っている。今日のテーマに沿ったご提案である。ただ、実現はなかなか難しい。事業としてやろうというところがあれば、全面的にバックアップをしていきたい。</p>	産業振興部
30	<p>【地デジ移行について】</p> <p>八王子中継所のデジタル化の時期及びするのかしないのかの結論は早く出ないのか。また、デジタル化しなかった場合は、テレメディアに入会しなければならないのか。テレメディアの株主である八王子市から、利用料の値下げ等何とかしていただきたい。(荻山 正生)</p>	<p>デジタル化に備え、多摩中継局と八王子上恩方中継局の2つができる予定である。国は、この2局でカバーできると考えており、ひよどり山の中継局については様子を見るとのことで検討中である。テレメディアについては、八王子市はわずかな株主であり、実態をみてもこれを調整することは難しい。従来見ているアナログチューナーをつければ見ることができるようである。</p>	総務部
31	<p>【地域密着型総合スポーツクラブについて】</p> <p>八王子ゆめおりプランにもとりあげられている地域密着型総合スポーツクラブの設立、誰でも気軽に一人でも参加できるように紹介してもらえる総合窓口の設置を早期に希望する。現在の地域密着型総合スポーツクラブの設立状況と、今後の見通しを教えてほしい。(川名 明実)</p>	<p>スポーツを楽しんでいる方は老若男女大勢いる。特に八王子は、スポーツ人口が多い。窓口は、生涯学習スポーツ部スポーツ振興課が行っており、必要なことを聞いてもらえば対応している。国の指導で、地域全体の年齢層が参加できる、スポーツに親しめる環境を作るということで、地域密着型総合スポーツクラブの設置を進めている。</p>	生涯学習スポーツ部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
32	<p>【10年後シリコンバレーにならないか】</p> <p>10年後に、八王子がシリコンバレーにならないか夢見ている。インドのインターナショナルスクールでは、授業で二桁の掛け算を行っている。八王子においても、放課後教室を活用して二桁の九九を暗記してもらい、将来のシリコンバレー八王子の担い手になってもらいたい。(川人 敬俊)</p>	<p>八王子にはものづくり企業が約2,000社ある。その中で、先端技術の企業は約1割いる。これだけ集積をしているのは珍しいらしい。地域的にこれだけの実績があるというのは、実質的に誇りうるものである。これからも持続性があるように、バックアップ、支援をしていくのも行政の役割だと思っている。インドの学校では、二桁の九九の暗算をしている。取り組みたいという学校があったら支援をしていきたい。</p>	産業振興部 学校教育部
33	<p>【公園の利用について】</p> <p>10年後には、八王子から八王子大輔(松坂大輔)や八王子俊輔(中村俊輔)のような人が育つことを夢見ている。</p> <p>公園内でボール遊びができないと掲示されているが、大人も子どもも利用できるように弾力的に考えてほしい。<b>あらゆる年代の人に有効に利用してもらえるように、掲示内容を少し変えてほしい。</b>10年後を夢見て、公園を子どもに開放して、子どもたちが納得できるようにしてほしい。 (川人 敬俊)</p>	<p>夢のあるご提案をいただいた。八王子大輔や八王子俊輔は出てほしいと願っている。ただこれは行政がどうすれば出るというものではない。機会があれば、バックアップしていきたい。公園では、基本的にはボール遊びは禁止になっているが、私は必ずしも適切だとは思っていない。公園の規模・形状によるが、野球ができるような公園については、ホームページに掲載しているから利用してほしい。公園を一律開放するというのは難しいので工夫したい。</p>	まちなみ整備部
34	<p>【障害者団体について】</p> <p>南口再開発について、障害者団体の事務所申し込みを優先的に受け付けてもらえるよう、配慮してほしい。 (宮本 一郎)</p>	<p>今までも要望に関して、可能な限り応えていこうとしている。基本的には、障害者が不自由なく、生まれ育ったところから生活ができるように、ノーマライゼーションの社会を作っていこうということをおきながら、まちづくりに取り組んでいる。南口は、新しい市民会館と中央地域事務所も考えているだけなので、理解していただきたい。大横町の事務所は、無償で提供しているので活用してほしい。</p>	総合政策部 まちなみ整備部
35	<p>【ボランティアセンターについて】</p> <p>ボランティアセンターが、プレハブで木造造りである。新築もしくは改築してほしい。 (宮本 一郎)</p>	<p>木造だから鉄筋にというのは、簡単にいく時代ではない。冷暖房完備であり、耐用年数も経ていない。危険とか老朽化が著しいということになれば、別の場所を考える。これは、すべての施設が同じ考え方であるので理解いただきたい。</p>	健康福祉部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
36	<p><b>【障害者支援について】</b></p> <p>八王子ケーブルテレビに、手話通訳と字幕を入れてほしい。障害者自立支援法のコミュニケーション支援事業について、「当面無料」としてくれたことに感謝する。今後も無料を続けてほしい。また、市役所に手話通訳者を設置してほしい。</p> <p>(宮本 一郎)</p>	<p>地域情報を的確に理解していただくために、できるものは実施していきたい。テレメディアとも相談をし、可能な限り字幕を入れたりしていきたい。</p> <p>国の障害者自立支援法の主旨は1割自己負担となっているのを、負担なしになるよう市がカバーしている。だから当面という表現をしているが、皆さんも困るだろうから、これからも続けたい。</p> <p>職員に手話通訳できる人がたくさんいる。ボランティアで勉強してできるようにしているので、不自由はかけていない。是非声をかけてほしい。</p>	健康福祉部 総務部
37	<p><b>【カラオケ大会について】</b></p> <p>八王子市内では、たくさんの方がカラオケ大会を行っている。市制100周年を目指し、夢を語るような歌の大会を年に1回開催したらどうか。夢をテーマにした大会は、おもしろいのではないかと。是非企画してもらって、会場を提供してもらいたい。</p> <p>(佐藤 良信)</p>	<p>地域の活動の中心になっていただいている方が企画をしてほしい。行政がやることではない。行政が多くの皆さんに参加してもらいたいと思えば、バックアップする。具体的に企画していただければ、バックアップできることはしていく。</p>	市民活動推進部
38	<p><b>【開発について】</b></p> <p>七国付近は開発され、多摩丘陵がなくなっている。都心から緑を気に入って来たのに、山や緑がなくなっている。「緑のあるまち」と宣伝しているが、これをなくしてしまっているのではないかと。声を聞く。八王子の財産である緑をなくして、開発する価値があるのか。この緑をもっと有効に使って、本当に住んでみたい人を集めることは、山を壊すことではないのではないかと。</p> <p>(渡邊 もと子)</p>	<p>地域ごとの特性を活かさなければならぬ。八王子にはこれから開発されるような場所があるが、これをすべて制限して開発させないというわけにはいかない。開発の許可をせざるをえない所もあるが、緑は保全しなければならないから、市民債を発行し、緑地の保全に努めている。90%の方が八王子に住み続けたいという最大の理由が、緑豊かな自然、環境が良いということで、これを堅持していく。また、まちの活性化ということも考えなければならない。両方大事にしていかなければならない。</p>	環境部 産業振興部 まちづくり計画部 まちなみ整備部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
39	<p>【企業誘致について】</p> <p>八王子は大学が多い。学生は卒業すると、どんなに優秀な学生も他のまちに移ってしまうのではないか。卒業した学生が、このまちにある企業に就職できるように、素晴らしい企業をたくさん誘致してほしい。そうすれば、学生がまちに根付きまちの力になる。人口も増え、税収入も増え、八王子がますます豊かな素晴らしいまちになると思う。(天野 良子)</p>	<p>私も基本的に考え方は同じである。八王子で学んだ学生がひとりでも多く八王子に根付いてもらいたいというのが、私の願いでもあるし、今重要な施策のひとつとして取り組んでいる。良い企業を誘致するというのは、まちが長く繁栄していくことには大事なことである。良い企業があれば良い人材が集まり税収入も増える、という良い循環になる。企業誘致条例を作り八王子に企業にきてもらい、資金投下して地域の雇用にプラスになるような企業は、市が3年間税金の相当額を奨励金として交付しようということで行っており、現在20社に適用している。これからも努力していく。</p>	<p>市民活動推進部 産業振興部</p>
40	<p>【麻疹について】</p> <p>市内の大学で麻疹が流行しているようだが、大丈夫なのか。現状を教えてほしい。(重盛 光明)</p>	<p>30歳以前の若い人に流行っている。昨年から2回ワクチンを打つようになったが、それ以前は1回だけだった。それを打たなかった人、打ったけれども免疫性の薄かった人がなっている。伝染力が強い。最初は創価大学が閉鎖になったけれど、もう大丈夫である。今は、中央大学が閉鎖しているのではないかと。他は聞いていない。</p>	<p>健康福祉部</p>
41	<p>【八王子について】</p> <p>以前は、八王子は保守的なまちだと思っていた。最近、八王子はエネルギッシュな印象を受けている。今後も努力してほしい。(重盛 光明)</p>	<p>八王子は、特に織物に関してはこの地域の中心であった。そのなごりからか、気質としては非常に保守的で排他的なところがあった。最近、新しい人が多くなり、八王子が斬新なまちに変わりつつある。チェロコンクールは典型的な例だと思う。八王子の市民力・地域力はすごいと思っている。これからも、市民の皆さんとしっかり連携をとって、いいまちになるよう協働してまちづくりをしていく。</p>	<p>市民活動推進部</p>

【西部地域】

平成 19 年 6 月 9 日（川口市民センター）

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
42	<p>【花の温泉について】</p> <p>高齢者は花や温泉を好むので、温泉とトレーニングルームを備えた施設を作って、その周辺に花を植え、花のある夢のあるまちづくりを望んでいる。（野澤 眞理子）</p>	<p>素敵なお提案をいただいた。豊かな緑・自然は、八王子の誇りであり、豊かな自然を大切にしていこうという思いは非常に強くもっている。それぞれの地域の特性を活かした花のあるまちづくりができるのではないかと考えている。温泉は、お金がかかる。他の自治体で行っているが、すごい赤字である。採算を考えると、税金を使って掘るといのはなかなか難しい。</p>	<p>産業振興部 道路事業部 健康福祉部</p>
43	<p>【川口の物流基地について】</p> <p>川口の物流基地の計画は、八王子市の都市計画マスタープランにも計画され、色々な動きがあるように聞いている。私は、この計画はこの地域が発展するには必要かつ重要であると思う。しかし、地元には情報が少ない。地元住民が事前に何も知らなくていいのか。情報の共有ができないだろうか。（浜中 賢司）</p>	<p>21 世紀の行政運営として、市民参加、協働というのは当然のことと思う。あらゆる分野で市民に参加してもらい、一緒に考え知恵を出しあって、一定の責任をもちながらすすめる、情報を共有するのは当然であると考えている。物流拠点整備については、圏央道開通というのは極めて大きなビジネスチャンスをもたらすと考えている。これから、地域の皆さん、市民の皆さんと情報を共有するような組織を作る。今までは、物流拠点として成り立つかどうかという基本的な調査をしてきたのである。地域の活性化が期待したとおりなるよう、皆さんの知恵をお借りしながら努力していきたい。</p>	<p>市民活動推進部 まちづくり計画部</p>

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
44	<p>【郷土資料館について】</p> <p>郷土資料館は昭和 39 年に建設され、手狭、老朽化が激しい。改修するとの話を聞いているが、実現されていない。古文書の調査をしているが、非常にたくさんの資料がある。どこか保管する場所を確保してほしい。そこで、小・中学校の空き教室の利用を提案したい。(増淵 滋)</p>	<p>郷土資料館はまったく十分でないと思っている。八王子市は、歴史の分野ではいろいろな面で豊富である。関連する資料はきわめて貴重であると思うし、これを後世にきちんと整理して残していくということは大事なことであると思っているので、郷土資料館もいずれ整備する。空き教室は、現在防災倉庫や学童保育で使用している。空き教室は、子どもの安全の問題もあり、条件が整わないのではないかと。子どもが少なくなって、統廃合をしたところを活用して、今資料を臨時的に保存している。<b>これを系列的にきちんとした資料として残すように、保存ならびに展示ができるように</b>と考えているので、その節はご協力いただきたい。</p>	<p>総合政策部 学校教育部 まちなみ整備部 生涯学習スポーツ部</p>
45	<p>【開発について】</p> <p>下小田野の上空では、5～6年前から大型の猛禽類、トンビとかオオタカが多く見られる。そんなところを虫食いの開発しようという動きがある。虫食いのやっ飛ばせば、残りは役に立たない。市全体の計画のもとで開発をすべきである。あの辺の自然は残してもらいたい。(小方 彦司郎)</p>	<p>最近では、オオタカ、ハヤブサ、トンビとかがよく見られるようになった。自然環境のバロメーターにもなり、基本的に大事にしていきたい。虫食いの開発は好ましいとは思っていない。都市計画マスタープランを、市民の皆さんにも入っていただいて、利用方法、地域の活用方法を決めている。開発をすべて規制するというわけにはいかない。緑を大切にしながら、見た目も悪くないような計画的な開発をしていかなければならない。</p>	<p>まちなみ整備部</p>
46	<p>【下水道未接続について】</p> <p>この地区では、4年前に下水道完備し川がだいぶきれいになった。しかし、敷地内の工事、本管へのつなぎを12～3%の人がつないでいない気がする。つないでいない人に対して、市はどのような対策をしているのか。(田中 奎一)</p>	<p>19年度、八王子全域に下水道が敷設されるようになった。<b>問題は、つないでもらわないと困る。</b>せっかく投資をしているわけだから。法律では、3年以内につないでいただくことになっている。個々に事情があり、つないでいただけないところもあるが、事情をよく聞き、市としてお手伝いできることはお手伝いして理解をしていただき、できるだけ早く100%つないでいただくような努力をしたい。</p>	<p>下水道部</p>

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
47	<p>【八王子八十八景について】</p> <p>八王子八十八景は認知度が低い。私は、八十八景を広げていきたいと思っている。観光という視点で、八十八景がどんな役割を担っていると考えているのか。認知度アップのために、どんな対策をしていくのか教えてほしい。(松山 夏季)</p>	<p>八十八景が選ばれたときは、こんなにいい所があるんだ、すごい資源があるんだと嬉しくなった。八十八景の役割は、いろいろあると思う。市外の方からは、八王子の魅力のひとつであり、八王子市民にとっては自信になる。新しい市民の皆さんがたくさんいるが、私は一日も早く身も心も八王子市民になってもらいたいという強い願いがある。八王子の歴史や文化に触れてもらい、いい所を知ってもらえば、ふるさと意識がもてるようになると思う。そういう大きな役割があるのではないかなと思う。認知度が低いと指摘をうけたが、これは頭の痛いところである。あらゆる角度から、認知度アップの努力をしていきたい。</p>	まちづくり計画部 産業振興部
48	<p>【下水道未接続について】</p> <p>私の家の裏側の6軒だけが、下水道が入っていない。これは、私道のために地主が掘ってはいけないと反対しているからである。いろいろと地主にお願いしているが、一切駄目ということである。市の下水のほうに流したいと思っているので、一日も早くできないであろうか。(岡部 公二)</p>	<p>そのようなことは例外的に市内である。私道を使っているところはある、中には、地主さんが何らかの事情でOKしてくれないので入らないというところがある。理由は様々である。市が仲介役となって、事情を聞くなど協力をしていきたい。市はできるだけのことはする。</p>	下水道部 水道部
49	<p>【再チャレンジについて】</p> <p>再チャレンジという言葉がある。子どもも大人も含め、ひきこもりの人達の再チャレンジの機会というのは、現状どんなものがあるか教えてほしい。現在、援農を行っているが、公の援助があれば、社会復帰の機会になるのではないかと思い、検討してもらいたい。(長井 確晴)</p>	<p>ひきこもりの方が、社会参加をしたり生きがいをもつということは、まちの活性化にとって大事なことだと思う。ただ、本人にその気がないと駄目だと思う。本人に多少でもその気持ちがあれば、家族にバックアップしてもらおう。そういう機会というのはいろいろ作っているのですが、是非相談してほしい。援農の作業に参加することに、援助してくれというのは無理である。それに税金を使って行うというのは難しい。</p>	市民活動推進部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
50	<p>【市街化調整区域について】</p> <p>調整区域に20年前から住んでいる。環境がすごくよく住みやすいところで、とても静かである。川町少年野球場の北側にドッグフィールドを建設するという説明会があった。1ヶ所できれば、また次々と開発されるのではないかと思っている。住民は非常に困っている。市街化調整区域について、市の考えを聞きたい。(石川 建世)</p>	<p>ドッグトレーニングフィールドという犬のしつけなどをするようなものである。調整区域については慎重にやらないといけない。地域の皆さんが、反対していることも承知している。私も、犬のしつけの施設を作ることに頭から反対しているわけではないが、それを作るために膨大な盛り土をしなければならないという計画そのものが適切ではないと思っている。道路も狭い、住宅地に面している道路だから問題があると認識している。相手側にもその旨伝えて、見直すように話をしている。</p>	まちなみ整備部



発言 番号	要望要旨 ( 発言者 )	市長答弁要旨	担当所管
51	<p>【アート塾について】</p> <p>脳がめざめる生き生きアート塾を行っている。これは、年齢を問わずどなたでも気軽にいろいろな素材にふれて楽しみ、創れる場である。認知症高齢者の症状改善・予防に役立ち、若年性認知症の症状改善にも効果があるとされている。これから、「アートのまち八王子」を目指していきたい。</p> <p>(小野田 照代)</p>	<p>素敵なことをやっていますね。今、芸術療法ということで、大学の講義などで取り上げられている。日本では、まだ代替療法として定着をしていない。医師ではないので、認知症にどの程度効果があるかというのはわからないが、私は良いと思う。ご提案いただいたので、いろいろな機会にこれから取り組めるように努力をしていきたい。いずれ近いうちに、きちんと認知されるようになると思う。</p>	健康福祉部
52	<p>【地元のコミュニケーションについて】</p> <p>10 年後の夢は、市民が気軽に語り合える交流の場で心豊かなまちである。町内がコミュニケーション豊かなまちになり、八王子が一番住みやすいまちになるということである。市民と行政がもう一步踏み出していかなければならない。地元の町民との交流、対話を活発化していくため、いつでも気軽に楽しく話し合える「自宅から近くの小さな交流の場」としての施設が必要であると思う。</p> <p>(横沢 勝弥)</p>	<p>同感である。残念なことに、地域の交流がところによっては薄まってきていることに、心を痛めている。これは、まちづくりの大きな課題であると思う。交流の場として「ふれあいサロン」を紹介しており、市内 36 ヶ所で行っている。町会の会館を上手に活用していければと考えている。学校は空き教室があるが、子どもたちの安全・安心という観点からいえば、難しい。ひとり暮らしや高齢者だけの世帯が増えているから、交流の場は必要なことだと思っている。より積極的に<b>取り組んで、場の提供等取り組んでいきたい。</b></p>	市民活動推進部 健康福祉部
53	<p>【階段の手すりについて】</p> <p>館町会館からゆりのき台に下りる階段があり、下のスーパーに食料を買いに行くルートになっている。この階段に手すりがなく、高齢者が上り下りするのに困っている。公園内であり、なんとか実現してほしいと願っている。</p> <p>(山田 崇)</p>	<p>お話の件は、職員から話を聞き現場も見させた。距離の長いバリアフリーの道はあるが、直線のルートの階段には手すりがないということですね。<b>ここに手すりをつけるようにします。やります。安心してください。</b>元気な方が多く、いつまでも元気でいていただくためにはそれに応えなければいけない。<b>できることは、具体的に前向きなご提案には、取り組んでいきたい</b>と思っている。</p>	まちなみ整備部 生活安全部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
54	<p>【災害対策について】</p> <p>災害が起きたとき、どのようにしたらよいかと考えている。困る問題として、水、食料、電気がある。地下に貯水槽を作り、常時新鮮な水道水が流れているようにできないか。食料についても、ストックする場所がない。地下倉庫を作るのに、市はどのように協力してくれるのか。太陽光発電を自治会等に設置できないか。</p> <p>(深沢 三千雄)</p>	<p>地域の防災意識が高まってきた。陵南公園には、1,500トンの水道水が流れる貯水槽がある。市内には、水道の給水拠点が18ヶ所ある。水の点は八王子では心配ない。倉庫であるが、自主防を新たに組織したところは、防災倉庫を設置している。行政は、保存できるものは蓄えている。電気は、復旧が一番早い。都心部が一番困るのが、トイレである。とりあえず、下水道のマンホールを上げ簡易トイレをつける。今は簡易トイレの整備に全力で取り組んでいる。一番頼りになるのが、地域である。地域で助け合うという地域の防災力を高めていただきたい。</p>	生活安全部
55	<p>【郷土資料館について】</p> <p>郷土資料館を、市制100周年記念事業として作り変えていただきたい。八王子の歴史を顧みれば、数々のドラマチックな流れがある。市民の方に、よりバーチャルに紹介をしていくのは、市の努めだと思う。</p> <p>(成瀬 正吉)</p>	<p>古くなっただけで、展示をできるような状態ではない。100周年を目指して、郷土資料館をなんとか建て替えなければならないと考えている。八王子の貴重な歴史の資料を後世に伝えていくのは、今を生きる我々の義務のひとつと思っている。新しい市民も八王子の歴史に触れると、ふるさと意識、市民意識が高まると思うし、大事なことだと思って取り組ませていただく。</p>	生涯学習入部
56	<p>【環境アセスメントについて】</p> <p>圏央道開通により環境アセスメントが改めて問題視されるなかで、地域住民に対して心配を払拭するために、環境に対する情報の開示を、最低でも1年に1回定期的に行っていただきたい。</p> <p>(水野 康直)</p>	<p>環境について、住んでいる方が心配されるのは当然のことである。環境というのは、最大の課題だと思っている。最低でも1年に1回情報開示は必ずやらせる。住んでいる皆さんが、安心できるように、やらせる義務があると思っている。責任もってしっかりやらせます。ご安心ください。</p>	まちづくり計画部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
57	<p>【企業誘致の優遇措置について】</p> <p>圏央道開通による八王子市の経済効果は地域間競争が必至と思われる。そこで企業誘致に関して、例えば10年間固定資産税を半減するといった優遇処置等は考えているのだろうか。(水野 康直)</p>	<p>圏央道が開通するという事は、ビジネスチャンスだと思う。産業振興には大きなプラスになる。優遇措置の件であるが、今、八王子市では「いきいき企業支援条例」をやっている。良い企業に八王子にこの機会に来てもらうというのは、大事な事だろうと思っている。固定資産税・都市計画税・事業所税相当額の奨励金を3年間交付している。</p>	産業振興部

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
58	<p>【大学の体験入学について】</p> <p>八王子にたくさんの大学がある。そこで、大学に協力してもらい、中学生が体験入学ができたかと思っている。将来の視野が広がるのではないかと。留学生との交流も、国際貢献、国際理解のためには有効ではないか。</p> <p>(佐藤 研治)</p>	<p>前向きなご提案である。それぞれの大学が特色を出しながら、まちづくりにご協力してくれている。中学生が大学に行って体験入学をするというのはなかなか難しいため、大学生が中学生の部活にご協力をしてきている。八王子市立の小・中学校では、大学生をインターンシップとして受け入れている。留学生は、ゲストティーチャーというような形でお願いできないだろうかご提案をしている。大学は知的資源、知的財産だと思っているので、これをフルに活用させていただくということは、まちづくりにとって有効な手段だと思う。</p>	市民活動推進部 学校教育部
59	<p>【FM放送局について】</p> <p>八王子市は、世界的にも類をみない学園都市である。様々な地域密着型の放送と各大学と市民とのコミュニケーションの手段としての地域密着型のFM放送局を取り入れてみたらどうか。(佐藤 研治)</p>	<p>地域密着型のFM放送については、考えてはいる。まだ具体化していない。一定の場所、設備投資が必要であり、なかなか調整がつかない。災害時ばかりではなく、学生を対象とした情報提供のひとつの手段ではないかと思っている。そういう視点から、これからも検討をしていきたい。</p>	総務部
60	<p>【JR八王子駅北口について】</p> <p>JR八王子駅北口の歩道側は、バスの専用レーンにしたらどうか。荷捌きの車は、周辺にターミナルを設けて、そこからハイブリッドの車で配送するというようなことを、学生の力を借りて行うなど、環境にやさしいまちづくりができないだろうか。また、北口の地下駐は、店があるわけではないし、テナント入れて、地下街を作ったらどうか。</p> <p>(佐藤 研治)</p>	<p>JR八王子駅北口の通りについては、なかなか思うようにいかない。従前に比べ駐停車する車は随分減った。一切駐停車させないでバスレーンというのは、理想だが難しい。少しずつ良くなってきている。荷捌きのターミナルも考え方としてわかる。将来的な課題として考えていかなければならない。地下駐についてはよくご提案される。地下の商店街は、きわめて厳しい規制が課せられている。安全に安心して通れるように知恵を出していきたい。</p>	まちづくり計画部 道路事業部

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
61	<p>【昭島市のリサイクルプラザ建設計画について】</p> <p>昭島市が、清掃センター周辺のダイオキシン問題を放置したまま、そこにリサイクルプラザを建設する計画について、市に善処をお願いしてきた。市長には大変な努力をしていただき、強い要請文を送る等果敢な対応をしてもらった。その結果、計画が事実上撤回された。行政の壁をものともせず対応してもらった市長に感謝申し上げます。 (樋口 明仁)</p>	<p>何年にもわたって取り組んできた問題であり、良かったと思う。昭島市は、あの場所に作るということはもうしません。断念している。市長として市民を守るということは、基本的なことだと思う。これからもそういう姿勢で皆さんと一緒に頑張らせていただきたい。</p>	環境部
62	<p>【滝山の観光コースについて】</p> <p>「道の駅八王子滝山」と滝山城跡を結び観光地になれば、地域が変わるのではないかと。問題なのは交通アクセスである。駐車場がないのが致命傷である。滝山城跡を見て、帰りに「道の駅八王子滝山」に寄るといった観光コースができないだろうか。 (細井 衛)</p>	<p>今、滝山城跡の広報マンのような思いでPRしている。八王子市民が誇りうるものがあるということは、新しい市民にとっても大事なこと。ふるさと意識が強くなる。道の駅と滝山城跡を一体化したいというのは同感である。是非、そうしたい。確かに、滝山城跡には駐車場が充分ではない。これは東京都と協議をしながら、考えていこうと思っている。</p>	産業振興部
63	<p>【八王子の活性化について】</p> <p>「道の駅八王子滝山」の南側に公有地がある。公有地だけでなく八王子駅の南口の再開発も含め、八王子が一体となって八王子市の活性化を考えなければいけないのではないかと考えている。 (細井 衛)</p>	<p>南口については、おっしゃるとおりである。南口から北口に、北口からまっすぐひよどり山を通過して、小宮公園を経由して滝山城跡まで。これをひとつのルートにしたい。南口は北口と一体感のある整備をしなければならぬと思っている。是非期待をしていただき、ご意見も寄せていただきたい。せっかく整備をするのだから、大きな効果が出るようにしていきたい。</p>	まちなみ整備部
64	<p>【信号機の移設について】</p> <p>新滝山街道(412号)梅坪町280番地付近の信号機について、西へ約40メートル移設していただくよう要望した。理由は、生活道路からの車の安全な出入りに利用できない不便さと危険性である。交通量の増加等交通の危険性の著しい増大も鑑み、移設をお願いしたい。 (谷津 英一)</p>	<p>信号機の場所は承知している。本当に今の場所でいいのかと若干疑問を感じる。警察のほうでもよく承知をしている。移設は警察が所管している。反対のご意見もあるようで、地域としてまとめていただき、地域としての要望となると警察も動きやすいし、行政も後押しをしやすい。住民の総意が大事だと思う。</p>	道路事業部

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
65	<p>【文化財の保護・保存について】</p> <p>文化財の保護・保存と活用で地域おこしを と考えている。例えば、旧街道に北条時代 の現状そのものが残っているので調査を し、説明板をつけるとかして、道の駅につ なげる。加住地区の史跡を掘り起こして文 化財に指定し、それを地図におとして、現 状と昔の北条が治めていた時代と重ね合 わせたものになれば良いのではないかと。さ くら祭りのときには歩行者天国にして、市 長に鎧兜を着て馬に乗ってもらって、北条 氏照に扮してもらい、時代まつりができたら いいなと考えている。(小澤 茂雄)</p>	<p>大変夢のある話で、私も大賛成である。 歴史遺産があるというのは、まちの誇りで ある。これを掘り起こして、大切に後世に 残していくことは大事なことだと思っ ている。地元の皆さんがご提案したものを、 行政が後押しをするということではない かと思う。こんなに素晴らしい美術館がそ ろっている地域はない。これは大事なこ とだと思う。氏照になるというのは結局滅ぼ されるので、複雑な思いである。</p>	産業振興部 生涯学習スポーツ部
66	<p>【先端技術と伝統技術について】</p> <p>「先端技術と伝統技術の融合のまち八 王子」が良いのではないかと考えている。 例えば、八王子まつりをする時に、写真を Tシャツに印刷して着るとかができるの ではないか。これを進めていくと、八王子 がだいぶ面白くなるのではないか。これか ら、何かひとつ世界に知れる八王子を作 っていけば、八王子の存在感がより一層高 くなるのではないかと。(大久保 文二)</p>	<p>個人的な努力の積み重ねが良いまちを 作るのだと思う。世界に知れる八王子とい われたが、非常に高度な技術をもった中小 企業、先端技術系の企業が八王子にはたく さんある。ものづくりの企業は、八王子に 約 2,000 社ある。その 1 割が先端技術系 で、非常に優秀な技術を持った企業がそ ろっている。それと八王子の伝統産業を融合 させる、コラボレーションできればいいな と思う。将来的には、山車会館みたいなも のを作って、観光地としても売りたい。</p>	産業振興部
67	<p>【宇津木土地区画整理事業について】</p> <p>宇津木土地区画整理事業が、予算がない ということではなかなか工事が進まない。な んとか早期に完成できるようにしてほしい。 今、予算としては下水道の予算が半分 を占めており、本当の工事はいくらでもな い。だから遅々として進まない。地域を開 発すれば、色々と工場などができると思っ ていたが、いつの間になくなって心配し ている。(門倉 充)</p>	<p>大変ご迷惑をかけている。区画整理につ いて、申し訳ないと思っている。区画整理 は、まちづくりで整備をしていくのには、 有効な手段であり、進捗した地域というの は、非常に良くなっている。地価が下落を している時は、区画整理は基本的に成り立 たない。国の方針としても「選択と集中」 である。優先順位をつけ、仕上がりそうな ところに集中して工事を仕上げる。遅れて おり、ただ迷惑かけるだけになってしまう ので、二重投資になるかもしれないが、下 水道だけでも先にとということで早く敷設 をしよう方針を転換した。是非ご理解を いただきたい。</p>	まちなみ整備部 下水道部



発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
68	<p>【交通政策について】</p> <p>この辺は、市中心部から離れており、市の施設等に気軽に出かけにくい。車で出かけた場合、駅前の地下駐車場には停めにくい。もう少し安くないのか。バスの料金も高いし、本数も少ない。かつて、モノレール構想があったと思うが、現状どのようになっているのか。地球温暖化対策でCO2削減を考え、車から別な乗りものに変えたらどうか。(中山 友由)</p>	<p>ご意見は、うなずけるところもあるが、全部難しいことばかりである。駐車場は、安ければ安いほどいいのだろうが、維持をするために限界もある。料金も以前の1時間500円から変え、だいぶ使いやすくなっている。今後は、周辺の状況、利用率をみながら、検討するべきではないかと思う。公共交通は是非利用してほしい。モノレールは、結論からいうとまったく駄目である。延伸するということは課題のひとつだが、現状では難しい。もっと安く便利にして、環境への負荷を軽減し、公共交通を使いやすくしないと、これから難しいと思う。</p>	<p>道路事業部 まちづくり計画部</p>
69	<p>【八王子西ICについて】</p> <p>今日、圏央道八王子西ICが開通した。西寺方から八王子ICまで30分かかっていたが、5～6分で行けるようになった。市長の尽力に感謝したい。以前から課題になっている中央高速の件であるが、首都高はすでに他県にまたがっている現状を考えたとき、三鷹の料金所をなくして八王子まで首都高にできないだろうか。(飯高 達夫)</p>	<p>圏央道は効果が大きく、八王子の西の地域にとっては便利になる。大変な朗報だと思う。関越道から中央道まで1時間半かかっていたのが、3分の1の30分に短縮される。皆さんの使いやすい料金にすることは、大事なことだと思っている。首都高の問題だが、長年の課題で、八王子市議会でも一致団結して取り組んでくれている。しかし、首都高と中央道は、まったく違う会社であり、成り立ちからして、非常に難しい問題がある。料金が改められ、距離制になり、バランスがとれるように、今、関係機関に働きかけをしている。引き続き努力をする。</p>	<p>まちづくり計画部</p>

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
70	<p>【「3館ラリー」の交通問題について】</p> <p>八王子市には、村内美術館と東京富士美術館と八王子夢美術館の3館ある。これはどこの市にもない財産である。八王子の史跡、産業、文化をうまくつなげられないだろうか。「3館ラリー」というスタンプラリーを行う。もっと市の広報で宣伝してくれないだろうか。その期間だけでも、はちバスを走らせることはできないだろうか。交通問題について配慮願いたい。</p> <p>(村内 道昌)</p>	<p>建設的なご意見だと思う。それぞれ特色のある3つの美術館が協力し合うことは、八王子の文化の向上のために、大変大きな役割を果たしていただいていると思っ ている。八王子の文化をどのようにまちづくりに活かすかが大事なことだと思う。自分のまちを良く知って自信や誇りを持つことが、良いまちを作る一番大事なことはないかと思っている。広報でPRをしっかりとやらせる。この間だけでもはちバスをと いうことは難しい。検討課題にさせてほしい。圏央道により、観光の面でも範囲が拡 がる。これも活用しなければならない。</p>	<p>総合政策部 市民活動推進部 産業振興部 道路事業部</p>
71	<p>【学区制について】</p> <p>学区制が廃止され、どこにでも行けるようになっていく。地域の人は育てる子どもを通してふれあって、地域のコミュニケーションが良くていって、これが防犯、防災にもつながっていく。学区制をなくしたというのは、近所との交流がなくなり、地域社会の郷土愛も薄れていく。社会がバラバラになっていくような気がする。その辺について、市長の意見を聞きたい。</p> <p>(西山 富保)</p>	<p>学区制の廃止は、心配される面もあるが、小学校は隣接学校に行ける、中学校はどこでも行けるということ。それはメリットもある。学校がそれぞれ特色を出して、<b>選択できるということがある。例えば子どもが少なくなって、部活が充分にできないが、それぞれの学校が特色を出し、全国大会に出場するチームも出ている。マイナス面としては、おっしゃったこともあるが、地域性が危うくなるとか連帯感が欠けてくるとかの心配をすることはしないのではないだろうか。決して悪い方向には進んでいないと思う。むしろ、メリット面のほうが多いと考えている。</b></p>	<p>学校教育部</p>

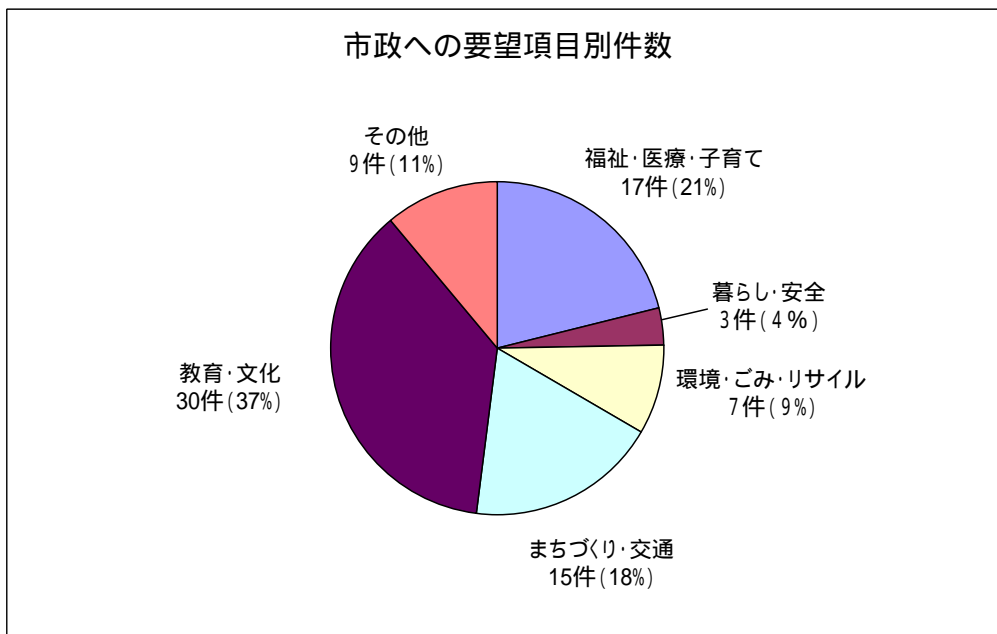


## 6. 過去の提案等取り組み状況

### 平成18年度“タウンミーティング「市長と語る」”提案等取り組み状況

テーマ 育てよう健康のまち八王子 ~いきいき暮らせるまちをめざして~  
各会場の実績

開催日	会場	地域	地区	参加者数 (人)	発言者数 (人)	発言項目数 (件)
5月13日	市役所本庁舎	中央	本庁	99	7	10
5月20日	東浅川保健福祉センター	西南部	浅川 横山 館	93	5	8
5月27日	由木中央市民センター	東部	由木 由木東 南大沢	107	10	19
6月3日	元八王子市民センター	西部	元八王子 恩方 川口	101	8	16
6月24日	由井市民センター	東南部	由井 北野	103	12	14
7月1日	石川市民センター	北部	加住 石川	116	8	14
合計				619	50	81



## ご意見・ご提案をいただいたその後の取り組み状況の一例をご報告すると

平成18年5月13日・市役所本庁舎【中央地域】

<意見> 清水川の源流の湧水池があり、周りに雑木林がある。これ以上その雑木林がなくなるといように、何とか手がうてないものか。そうしないと、せっかくの湧水池が死んでしまうと思う。

(梶原 久幸 様)

市長 八王子には幾つか湧水池があるが、だんだん水が枯れてしまったというのが多い。当然、これは周りが宅地化をされて雨水等が浸透しなくなっているというようなこともある。例えば、横川の湧水池は、その周辺用地を市が買い取り湧水の復活をさせようと、取り組みもしている。清水川の源流になっている湧水池も、早急に調査をする。

【対応】 タウンミーティング後、直ちに発言要旨の湧水池を調査し、確認した。その源流部は、昨年、市が緑地として購入、現在、公園課が檜原緑地として管理している状況にある。

<意見> 去年の浸水想定区域図などを見ると、浸水が想定されている区域というのが相当浅川周辺にある。都の管轄河川が非常に八王子に多いが、ハザードマップを八王子市も早く作って、まちづくりにぜひ活かしていただきたい。

(諏訪 祥子 様)

市長 八王子は、浅川を中心にして17の河川が市内を流れているので、これは十分に備えていかなければいけないことの一つ。ハザードマップも今準備している。できるだけ早い時期に、これを作る。十分な備えをしていきたいと思っている。

【対応】 昨年9月、多摩川と浅川の国土交通省直轄区間について洪水ハザードマップを作成。防災課及び市民部事務所窓口で配布しているほか、浸水想定区域及びその周辺の住民には町会をとおして戸別配付を行った。

また、東京都管理河川については、現在、都が浸水予想区域図を作成中であり、これが公表された後に該当する河川周辺のハザードマップを作成する予定である。

<意見> 浅川地区では地域総合型スポーツクラブというものが、学校施設開放を中心に設立目  
前である。ところが、このスポーツクラブで何をしたらいいのか、我々は全然わからない。  
市に行って聞くには、誰かが半日仕事を休むようになり、それでは続かなくなる。  
携わってくれる職員を、1年間担当制で派遣してほしい。

(網野 竹文 様)

市長 総合型スポーツクラブのことについて、なかなか受け入れていただけない地域もあり苦  
労している面もある。理解をしていただくための努力も、もう少ししなくてはいけないと  
思う。皆さんもお仕事をされておられるわけだから、夜集まっていたときに私ども  
で派遣し、いろいろな意見を聞かせていただいたり、市の考え方を伝える、そういう仕組み  
をつくる。

【対応】 5月20日以降6回実施した。夜、各地区に出向き、地区の意見を聴くとともに、市の  
考え方を伝えた。今後も地区から要請があれば、情報交換のできる場を設定していきたい。

また、市内全23地区の代表を一堂に集め、「情報交換会」を開催し、(平成18年10月  
18日及び11月29日)先進地区の事例発表や地区相互の情報交換を行い、各地区の今後の  
取り組みの参考にもらった。

<意見> ウォーキングは、若い人でもお年寄りでも気軽にできるということで、スポーツの基  
本的なことだと思う。毎日ウォーキングすると、生活習慣病の防止になり、外に出るこ  
とは健康上、精神衛生上も非常によいと思う。

ウォーキング道路は現在もあるが、サイクリングロードと兼用。改めて、いつでも楽  
しく、ゆっくり安心して歩ける我々のウォーキング道路、散歩道路といったことを考え  
ていただきたい。

(横沢 勝弥 様)

市長 健康の基本は歩くことだと思う。安全に歩ける道路を整備することは、大事なことだ  
と思っているが、健康づくりというのは基本的には市民の皆さん一人ひとりの問題。行政は、  
その健康づくりが取り組みやすい環境を作っていくことが、仕事だと考えている。サイク  
リングロードの、第一期整備が完成するが、歩く方ももちろんいい。自転車だけでなく、  
歩くだけでもない。サイクリングロードというネーミングがいけないのかなという感じも  
するが、考えていきたい。

【対応】 道路事業部所管「浅川サイクルロード」とスポーツ振興課所管「浅川サイクリング道路」の愛称を「浅川ゆったりロード」と変更し、「自転車に乗ったカメ」をシンボルマークとした。この2つは、市民公募から決定したものであり、浅川の自然溢れる景色をゆっくりと楽しみながら、サイクリングやウォーキングなどに利用していただく思いが含まれている。また、浅川ゆったりロード沿線には総合案内板を設置し、利用者満足度を向上させるような取り組みをしている。

平成18年5月27日・由木中央市民センター【東部地域】

<意見> 行政というのは、はっきりどこも縦割りである。例えば福祉と環境保全、農林、これらが手を結んだらいろんなことができると思う。財政の問題じゃない。また、市の職員の情報量が少なすぎる。情報をいっぱい持っているのは市役所であり、それをどう活用するかというところを、職員の人たちに考えてほしい。

(鈴木 亨 様)

市長 縦割りは、役所の一番悪いところ。それは一番の課題だと思っている。情報を共有できる体制を、どう作っていくかがこれからの役所のあり方だと思う。組織を作るにしても、意識改革を進めているし、関連のある部署というのは、みんなが関心を持つように、これからも努力をしていきたい。

【対応】 各部に連絡調整を担当する課長職（企画調整担当主幹）を配置し、横の連携を深め、組織の縦割りの弊害をなくすように努めている。

また、情報を共有できる体制づくりについては、行財政改革プランにおいても、重要な取り組み項目の一つとなっており、有効なデータの洗い出し及びデータを活用するしくみの構築の検討を行っている。

さらに今後も、一人ひとりが自ら考え行動できる高い意識をもった職員を育成するとともに、よりよい地域社会へ貢献ができるよう職員の意識改革に努めていく。

<意見> 八王子かるたをサタデースクールで去年やったが、とてもおもしろいと言われた。まだ皆さんご存知ではないのかなということなので、かるた大会とか催し、その目標に向けてこれを広めていただきたい。声を出しての暗唱は、腹筋とか鍛えられる。健康にこれにつながっていきたいと思う。

(白水 嘉奈子 様)

市長 八王子かるたは、八王子の歴史や文化とかが、非常に上手に歌い込まれている。子どもたちに自分のふるさとをよく知っていただくということは、大事なことだと思う。そういう一つの手段としても、このかるたはいいと思うので、機会を見て普及に努めていきたい。

【対応】 昨年度特別展（平成 19 年 2 月 20 日から 3 月 25 日開催予定「市民の記録した戦後の八王子～ 淵上明の写真から～ 縁側の子どもたち」）中、特別展内容と関連させて「昔のあそび」を八王子市郷土資料館で開催した。その中で取り上げた「かるた遊び」では「八王子かるた」を用い、八王子の歴史や文化などにも参加者に触れていただき、また、「八王子かるた」を周知する機会として実施した。

また、お正月の時期にあわせ、広く市民や庁内の他所管でも積極的に活用してほしいと考え、広報 12 月 15 日号と郷土資料館ホームページにおいて「お正月にかるたを」を掲載、さらに「八王子かるた」のポスターを作成し、改めて周知をはかった。

今後も「八王子かるた」が広く親しまれるよう、様々な方法と、適宜見直しを図り、周知を徹底させていくよう努めていきたい。

平成 18 年 6 月 3 日・元八王子市民センター【西部地域】

< 意見 > 健康増進法が制定され、各施設の管理者の管理責任というものが法的に決まっている。八王子の場合、例えば飲食店に入ると、ほとんど喫煙が制約されてない。駅前やその他道路での歩きたばこも非常に多い。千代田区その他では対策を取っており、この点についての指導をお願いしたい。

（ 齋藤 道彦 様 ）

市長 レストランなど、実際に喫煙の席を分煙で設けているところがある。施設の完全禁煙については勉強する。歩きたばこは、マナー向上のキャンペーンを行い 4 割減った。これ以上これを向上させるには、罰則規定まではなかなか難しいと思うが、条例でも作らないといけないのかなと思う。どれだけ実効性が上がるかわからないが、条例の制定を検討している。

【対応】 飲食店については、健康増進法に基づき、各経営者（管理者）が受動喫煙を防止することを義務付けており、市では広報などを利用して、周知するよう努めている。

迷惑喫煙については、市民からの意見や要望が絶えないことを受け、庁内条例検討委員会を設置。関係団体の意見を取り入れながら検討を重ね、平成 18 年 12 月議会に「八王子市路上喫煙の防止に関する条例」を提案し、議決を経て平成 19 年 1 月から施行した。この条例では、市内全域の路上での「歩きタバコ」を禁止したほか、4 月からは、八王子駅北口周辺を路上喫煙禁止地区に指定した。悪質な場合は、過料（20,000 円以下、但し当面原則 2,000 円）を課すことになっているが、当面は啓発活動を中心に行っている。

<意見> 道の駅がどこにできるかということが、よくわかっていない方が多い。八王子駅前の大きな市のテレビに、地図などでも書いていただくとか、道の駅は来年こういうふうにできるというのを言っていただくなど、PRをしてほしい。今年中に、大きなイベントでも実施したらどうか。

(松木 英子 様)

市長 造成工事が終わったということで、まだ、何も形が見えてない。工事は7月着工するが、着工して一応目途がついてきたら、PRをまめにやりたい。いろいろ考えてみたい。

【対応】 PR実績

- ・ 広報はちおうじ 18.7.15 に道の駅オープン予定を掲載。  
19.3.15 にオープン特集記事を掲載。  
名称募集など過去にも機会あるごとに掲載している。
- ・ 市ホームページ 暮らしの便利帳 産業・仕事 道の駅八王子滝山に  
完成予想図や施設の配置図、案内図を掲載。  
道の駅八王子滝山のホームページへのリンク。
- ・ 雑誌やカーナビ 雑誌の取材に協力し、道の駅が紹介されている。  
依頼があったカーナビ会社に情報を提供。
- ・ 国・都、関係機関へPR要請  
相武国道事務所が新聞折り込みで道の駅のPRを実施。
- ・ インターネット 道の駅関連のインターネット情報で紹介されている。
- ・ 日野市におけるPR 一般国道20号日野バイパス  
日野市川辺堀の内日野バイパス敷地内  
平成19年3月17日(土)日野バイパスふれあいフェスタ  
平成19年3月24日(土)開通式典  
において、  
道の駅八王子滝山のパネル展示およびチラシ配布(300枚)

イベント

- ・ 平成19年4月1日(日) オープンセレモニーを実施。16,000人が来場。
- ・ 平成19年4月30日(日) 「道の駅発 春の滝山城跡散策ツアー」30名参加。
- ・ 道の駅きっぷ発売中。  
今後も、一人でも多くの方に楽しんでいただけるように指定管理者が市と協力をして、イベント等を企画する。

<意見> 八王子にある障害のある人たちのグループホームは、まだ21ぐらいで、大体100名ぐらいの利用の方がいる。重度の方たち、中軽度の方たちのもう1寮を作っていただくと大変ありがたい。知的な障害の方、身体的な障害の方、精神的な障害の方も、八王子の中で生きていけるようにご尽力いただきたい。

(矢代 美知子 様)

市長 障害者自立支援法が施行されたが、その趣旨は、障害を持っておられる方が、住み慣れた地域で生活ができるように、自立ができるように、支援をしようということ。私どももきちんと受け止めさせていただく。今、八王子には知的障害者のグループホームは22施設だが、まだ十分でないことはよく承知をしている。これは精一杯努力をする。少し時間をいただきたい。

【対応】 市は、障害者の方が住み慣れた地域で暮らせるように、グループホーム等の新規設置を進めており、平成17年度までは、毎年10名分程度の新規施設の設置を実施してきた。平成18年度は、新規施設3箇所、施設定員増2箇所約30名分の認定を行った。平成19年度以降においても、30名程度の新規施設の認定等を行う予定であり、今後もグループホーム等の設置を促進していきたい。

<意見> 公園でボール遊びの禁止という看板がある。ボール遊びをすると怒られてしまうということもあるみたいで、子どもたちは公園でゲームをして遊んでいる。そのことに関してどのように思われているか。

(村松 千枝 様)

市長 小さな公園では、そのような禁止事項があるかもしれないが、大きな公園にいけばボール遊びは可能ではないか。公園アドプト制度に参加してもらい、その中で、公園のルールについても皆さんで決めていってほしい。

【対応】 市内の公園において、野球・サッカーは禁止しているが、キャッチボールや2～3人でボールの蹴り合いは禁止していない。しかし、中・高生や大学生などの若い人たちが遊んでいると、公園を利用する幼い子どもや高齢者にボールが当たりケガをする事があり、地域からの要望によって弱者の保護のためやむを得ず「ボール遊び禁止」の看板を設置している公園もある。公園のお知らせ看板(キャッチボールやボールけりの可能)については改善を検討中である。また、今後、野球やサッカーのできる公園を選定して、ホームページ等で紹介できるように検討を進めている。

<意見> 学校開放の中で夜間利用することが多いが、警備のいない無人化の学校がある。そうすると、体育館を借りたいが、学校まで開放されてしまうという形で警備上非常に問題がある。これに関する今後の進め方を聞かせていただきたい。

(福島 忠治 様)

市長 学校管理員がいない学校については、早速管理体制不十分ではないように、不合理のないように調整をする。

【対応】 教育委員会では、施設開放している学校について、平日の夜間及び土曜日、日曜日に学校管理員や施設開放員をおいて施設開放時の対応を行っている。

<意見> はちバスは、丸山町や久保山町の下の方の宇津木台までは来ているので、何とか丸山町や平町まで運行していただけないか。丸山町からあったかホールに行くことができれば、たいへん有り難い。

(小坂橋 稔市良 様)

市長 はちバスは、そういうご要望が非常に多いが、要望にはお応えしきれない。コースを決めるときには、専門家などに入ってください委員会を作り、コースを決めたという経緯がある。それを簡単にあっちの路地、こっちの路地というわけにもいかない。今後の取り組みの課題とさせていただきたい。

【対応】 はちバスのルートについては、地域循環バス等検討委員会で交通不便(空白)地域を選定し、そのうちコミュニティバスによって対応する地域として決定している。

現在のところ、コースの変更は考えていないが、様々な環境などの状況の大きな変化があった場合は、課題として取り組んでいく。



## 7. 会場配布資料

平成19年度“タウンミーティング「市長と語る」”資料

### 平成19年度の本市の予算について

市は、皆さんがいきいきと暮らしていけるまちの実現に向けて、さまざまな施策を展開しています。市が目標とするまちづくりの具体的な事業を、市の予算に表しています。

本年度の予算編成では、財政の健全化を図りつつ4つの重点項目を中心に「八王子ゆめおりプラン」実現のため、効果的に財源を配分し、我がまち八王子の将来を担っていく子どもたちへの施策に意を尽くした「次世代創造型予算」とし、積極的な内容としました。

#### 子育ての支援と教育環境の充実

子育てしやすいまちの実現と学校教育の充実のための事業を、重点的に予算に盛り込み、小・中学生の医療費助成制度などを新設しました。

#### 都市の再生

まちの発展の土台となる道路や施設などの都市整備基盤のために、積極的に予算配分をしました。(公共下水道の整備完了・八王子駅南口地区市街地再開発・高尾駅北口周辺整備など)

#### 安全・安心な暮らしの確保

多発する災害や事件への備えを強固にするための事業で、安全・安心の確保に重点をおき予算配分をしました。

#### 健康・医療、福祉施策の充実

いきいきと健やかな暮らしの実現と障害者や高齢者の支援のための事業に広く予算配分し、子宮がん検診の対象年齢の引き下げ(30才→20才)や、高齢者認知症・うつ早期発見支援事業の新設などを行いました。

#### 19年度予算の概要

平成19年度予算総額は、一般会計で1,671億円。前年度に比べ4.7%、75億円の増となりました。これは、歳入面では、税制改正に伴う定率減税の廃止や税源移譲の影響などによる市税の増、歳出面では、医療費助成制度の充実など民生費の増と八王子駅南口地区市街地再開発の本格着工などによる土木費の増などによります。

また、1年前倒して整備を完了する下水道事業など8つの特別会計は、前年度に比べて全体で1.5%、25億3,600万円増の1,674億7,600万円となりました。

一般会計及び各特別会計を合わせた平成19年度の予算総額は、前年度に比べ3.1%、100億3,600万円増の3,345億7,600万円となりました。

#### 主な事業

本年度の予算は、地方分権の中で画期的な改革であった税源移譲を受けての初めての予算であり、本市は、今まで以上に自主的で効率的な行政運営を目指します。今後は、多摩地区最大の中核都

市として、さまざまな施策を積極的に展開し、「最少の経費で最大の効果を果たす」という原点に立ち返りながら、市民の方々と協働でつくりあげた基本構想・基本計画「八王子ゆめおりプラン」を着実に推進し、プランに掲げられた6つの都市像を具体化していきます。

ここでは、「八王子ゆめおりプラン」の都市像に沿って設定した、平成19年度の主な事業を紹介します。

( は新規事業、 はレベルアップなどを図る事業です。 )

## 1. 新しい時代にふさわしい創意にみちた協働のまち

学園都市づくり 1億4,499万円

学生や市民、大学、企業との協働により、学園都市の特性をいかした、魅力あるまちづくりを一層進めます。

市民活動の推進 2,867万円

市民との協働のさらなる推進に向け、団塊世代の地域参加を図るための情報提供や講座・催しなどを行います。

### その他の事業

住民情報システム再構築... 6億円

〔住民情報、国民健康保険事業、高齢者医療などの各システムを包含したシステムの最適化を図る〕

町会・自治会活動支援... 2億2,634万円

市施設の大規模修繕... 2億1,450万円

広報活動... 1億4,924万円など

## 2. 一人ひとりが大切にされ共助で築くふれあいのまち

義務教育就学児医療費助成 1億4,191万円

小・中学生の医療費の一部を助成し、負担の軽減を図ります。

生活環境対策 395万円

道路や歩道にはみ出して置かれた看板などを規制し、秩序ある環境の確保に努めます。

### その他の事業

八王子市保健所の管理運営... 5億7,334万円

高齢者認知症・うつ早期発見支援... 1,025万円

放課後子ども教室... 2,646万円

認定こども園運営...1,258 万円など

### 3. だれもがいつでも多様に学び豊かな文化を育むまち

海外友好都市交流 866 万円

友好交流協定を結んだアジアの3都市との市民交流を推進するほか、職員を相互に派遣して研修を実施します。

小中一貫教育実施校の設置

小中一貫教育実施校の平成20年度の開設に向け、研究校を指定するとともに、開設準備検討委員会を設置します。

その他の事業

こどもの安全対策...2,637 万円

青少年海外スポーツ交流...287 万円

国際チェロコンクール支援...962 万円

学生音楽祭を開催...300 万円

プラネタリウム改修...4,773 万円など

### 4. 安全で快適に暮らせる心やすらぐまち

公園の整備 13 億 4,220 万円

広域防災拠点としての機能を併せ持つ片倉つどいの森公園をはじめ、災害救助犬の訓練施設を兼ねる「ドッグラン」を備える七国公園などを整備します。

西八王子駅北口の交通環境改善と中央線連続立体交差化調査 773 万円

西八王子駅北口周辺で、路線バスなどが円滑に乗り入れできるよう、交通環境の改善を図るとともに、中央線を立体交差化するための調査を実施します。

その他の事業

八王子駅南口地区市街地再開発...17 億 3,405 万円

道の駅整備、管理運営... 1 億 8,227 万円

ひよどり山有料道路無料化... 2 億 2,832 万円など

## 5. 魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

### 企業立地促進

8,100 万円

産業・経済の活性化のため、八王子ニュータウン地区などの企業立地促進地域に施設を新設・拡張した企業に対し、奨励金を交付します。

### 「高尾の里」整備

2,304 万円

東京都から譲渡された高尾自然科学博物館跡地に新たな観光・学習拠点を整備するため、建物や広場の基本設計などを行います。

### その他の事業

まちの魅力をPRするくちコミ隊を支援...100 万円

3か国語版観光マップを作成...820 万円など

## 6. 水とみどりを慈しむ地球環境にやさしいまち

### 路上喫煙対策

1,942 万円

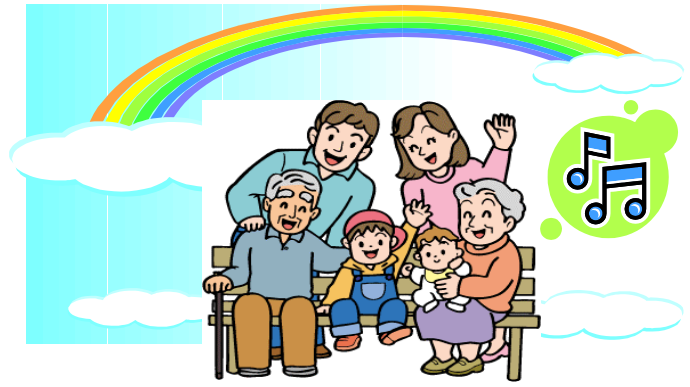
八王子駅北口周辺地区に加え、新たに路上喫煙禁止地区を指定して、迷惑行為の防止に努めます。

### その他の事業

ごみの減量と資源化の推進...4億7,051 万円

スギ花粉対策...1,787 万円

横川弁天池公園整備...250 万円など



# 市民のみなさんの夢をきかせて！ ～10年後のわがまちを語り合おう～

「市民のみなさんの夢をきかせて！～10年後のわがまちを語り合おう～」をテーマに、  
“タウンミーティング「市長と語る」”を開催します。

本市は、10年後に市制100周年を迎えます。そこで、自分たちが作っていきたいまち  
など、市民一人ひとりが考える「夢」のまちを自由に語っていただきます。

皆さんのアイデアを直接、市長にご提案ください。

なお、今回は、タウンミーティング開始前に  
学生によるミニコンサートを実施します。



ミニコンサート  
も行います  
お楽しみに！

お誘い合わせの上、お近くの会場へ直接お越しください。

## 開催日時及び会場

開催日	会場	時間
5月12日(土)	市役所本庁舎 903 会議室	午後7～9時 (全会場共通)
5月19日(土)	柏木小学校	
5月26日(土)	北野事務所	学生によるミニコンサート は、午後6時40分～7時 (全会場、タウンミーティン グ開始前)
6月9日(土)	川口市民センター	
6月16日(土)	横山南市民センター	
6月23日(土)	加住市民センター	

発言を希望される方や手話通訳を必要とされる方は、開催日の1週間前  
までにお申し出ください。

【問い合わせ先】 八王子市 総合政策部 広聴広報室(広聴担当) 電話: 620-7411(直通)

FAX: 620-7322

市ホームページアドレス <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/>

## 学生によるミニコンサート開催日程

開催日	参加団体	種類	会場
5月12日(土)	東京純心女子大学	合唱	市役所本庁舎 903 会議室
5月19日(土)	首都大学東京	管弦楽	柏木小学校
5月26日(土)	創価大学 新世紀管弦楽団	管弦楽	北野事務所
6月9日(土)	東京造形大学 フォルクローレ	管弦楽	川口市民センター
6月16日(土)	東京家政学院大学	吹奏楽	横山南市民センター
6月23日(土)	東京家政学院大学	吹奏楽	加住市民センター



平成19年のタウンミーティングは、学生委員会と市の協働事業により、若い感性で未来への夢あふれる学生達が各会場でミニコンサートを行いました  
「音楽のまち」にふさわしい、心温まる演奏をしていただきました。

## おわりに

今回の“タウンミーティング「市長と語る」”では、参加者 643 名、6 会場で 55 名の方々から直接ご提案等をいただきました。また、予定時間を超過した会場もあるなど、各会場とも市民の皆さんからご熱心にお話をいただき、大変感謝申し上げます。

市では、いただいた皆さんのご提案等を真摯に受け止め、今後の施策への反映に努めていきます。

今後も、市民の皆さんと一緒にまちづくりを考える“タウンミーティング「市長と語る」”を積極的に展開しながら、地域の中で多くの市民の皆さんと交流し、ご意見等いただきたいと考えています。お近くの会場で開催した際には、ぜひご参加いただければ幸いです。